



先進的な取り組みを進める市内事業所

シニア人材、障がいのある人、外国人などの多様な人材が活躍する市内事業所の一例を紹介します。

フジコーポレーション株式会社



「新潟から世界へ」を合言葉にグローバルな展開を進めています。主力商品はサンタクロス公認除雪機。北はフィンランド・サンタクロス村から南は南極・あすか基地まで、世界各国で使用されています。2014年に「ダイバーシティ経営企業100選」を受賞。

紹介内容
シニア人材
の雇用

4ページ掲載

株式会社ツノダ



プロの作業現場から、ホビーや暮らしのメンテナンスまで、日常のさまざまなシーンで活躍する作業工具を企画開発し、製造・販売しています。障がいのある人、子育てや介護と両立している人、外国籍の人などさまざまな社員がチームとして働いています。

紹介内容
障がいがある
人の雇用

5ページ掲載

THE 研修ハウス with ヤンゴン



半導体製造装置部品、玩具ホビー部品、機械部品、医療機器部品の旋盤加工を行う有限会社イワセが開設したミャンマー人技能実習生の研修施設。外国人が技能実習生として入国した際には、1カ月間の研修が義務づけられており、その研修期間に使用されます。

紹介内容
外国人材
の雇用

6ページ掲載

※材料を回転させ工具を当てて切削する加工方法

多様な人材の活躍を実現するには、『3拍子』がポイントに！

多様な人材の活躍を実現するためには、①経営者の取り組み、②人事管理制度の整備、③現場管理職の取り組みの『3拍子』を揃えることがポイントとなります。

1

経営者の取り組み

- 「多様な人材の活躍」の経営ビジョンへの盛り込み
- 経営姿勢・理念が浸透するための行動

など

2

人事管理制度の整備

- 勤務環境・体制の整備
- 能力開発支援施策の整備
- 評価・報酬制度の整備

など

3

現場管理職の取り組み

- 経営戦略と個々の業務を紐づけた業務指示
- 人材のキャリアの希望に即した業務付与
- 多様な人材が活躍可能な職場づくり

出典：経済産業省「～3拍子で取り組む！～多様な人材の活躍を実現するために」

特集

多様な人材が活躍するために

—— 一歩先の未来をつくるダイバーシティ経営 ——



鍵となるのは、 ダイバーシティ経営

燕市の基幹産業であるものづくりの現場では、急速な少子高齢化と労働市場の変化による人材不足に直面しています。市場の不確実性も高まる中、企業経営は変化に対応する能力が求められています。激しい環境の変化に、「ものづくりのまち燕」はどのように向き合い対応するべきなのでしょう？

課題解決の鍵を握るのは、性別、年齢、人種や国籍、障がいの有無、価値観、キャリアや経験、働き方なども含めた「多様な人材」の活躍です。人材の多様性を取り入れた組織運営を実施すると、企業全体の生産性が向上し、人手不足の解消にもつながると言われています。「多様な人材」が持つ潜在的な能力や特性を生かすための取り組みを行い、企業の価値創造につなげる経営のことを『ダイバーシティ経営』といいます。その実践のためには①経営

者の取り組み、②人事管理制度の整備、③現場管理職の取り組みが重要であり、それぞれの取り組みを連携させながら、定着させていくことが重要です。しかし、「実際にはどのように向き合い、対応して良いのか分からない」というのが経営者の皆さんの本音ではないでしょうか。今号では、ダイバーシティ経営を行う市内事業所の取り組みと市が行っている支援事業を紹介します。

